

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	養老町立高田中学校		
実 施 期 間	平成25年10月16日(水)～11月1日(金)		
実 施 概 要	<p>◎特別な一日を設定するのではなく、10月中旬から11月初旬を教育週間とし、行事や交流会を計画的に実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○10月16日(水) ・国際理解に関する交流会Ⅰ(2年) ○10月17日(木) ・障がいを持つ方々を理解するための講演会Ⅰ(1年) ○10月18日(金) ・高田公民館との交流会Ⅰ(3年) ○10月21日(月) ・弁当の日(生徒及び教職員全員) ○10月23日(水) ・1、2年授業公開(保護者対象) ・給食試食会(2年生保護者対象) ○10月25日(金) ・障がいを持つ方々を理解するための講演会Ⅱ(1年) ○10月26日(土) ・資源回収台風接近のため中止 ○11月 1日(金) ・高田公民館との交流会Ⅱ(3年) ○11月 1日(金) ・障がいを持つ方々を理解するための講演会Ⅲ(1年) ・国際理解に関する講演会Ⅱ(2年) 		
実 施 内 容	<p>学習・取組の分野</p> <p><input type="checkbox"/>自然 <input type="checkbox"/>歴史 <input checked="" type="checkbox"/>文化 <input type="checkbox"/>産業 <input checked="" type="checkbox"/>その他</p> <p>公開の方法</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>授業公開 <input type="checkbox"/>成果発表 <input checked="" type="checkbox"/>交流活動 <input checked="" type="checkbox"/>講演会等</p> <p><input type="checkbox"/>地域行事等参加 <input type="checkbox"/>その他</p>		
来 校 者 数	保 護 者	197人	計 267人
	地域関係者	70人	
実 施 状 況	<p>◎10月16日(水) ○国際理解に関する交流会Ⅰ(2年) 翠耀会の方より、ベトナムでの体験や支援についての講話を聞き、自分たちで何ができるのかを考えた。</p> <p>◎10月17日(木) ○障がいを持つ方々を理解するための講演会Ⅰ(1年) 点字サークルの方の講話を聞き、点字への理解や点字の体験を行った。</p> <p>◎10月18日(金) ○高田公民館との交流会Ⅰ(3年) 公民館サークル、地元老人会との交流を実施した。学級ごとに、ゲートボール、生花、茶道、コーラス、フォークダンスを通して、世代の異なる方と交流を行った。</p> <p>◎10月21日(月) ○弁当の日(生徒及び教職員全員) 今回、主菜は給食で用意し、「ごはん」と「野菜を使った副菜」を自分たちで作って持参した。</p> <p>◎10月23日(水) ○1、2年授業公開(保護者対象) 3年生は後日進路説明(保護者出席)が予定されており、今回1・2年のみの授業公開となったが、数学科と英語科で少人数の公開を行うなど、授業改善や工夫についての取組を保護者に知らせた。その後の懇談会では、家庭学習の大切さを保護者と共に考えることができた。</p> <p>◎10月23日(水) ○給食試食会(2年生保護者対象) 食育の一環として学期毎に実施している取組の一つで、今回は2年生の保護者45名が参加し、給食の試食を行うとともに、栄養職員が食育の大切さを保護者に向けて話した。</p> <p>◎10月25日(金) ○障がいを持つ方々を理解するための講演会Ⅱ(1年) 盲導犬と共に生きる方の講話を聞き、視覚に障がいを持つ方の生き方や、実際にアイマスクでの体験を通し、どう共に生きていくのかを考えることができた。</p> <p>◎10月26日(土) ○資源回収(第2回) 全校生徒とその保護者、地域住民(台風接近のため、今回は中止)</p> <p>◎11月 1日(金) ○高田公民館との交流会Ⅱ(3年) 前回の学級で行ったサークルとは違うサークルとの交流を行った。尚、交流内容は前回と同じ。</p> <p>◎11月 1日(金) ○障がいを持つ方々を理解するための講演会Ⅲ(1年) 「あゆみの家」の方の講話をお聞きし、障がいを持つ方への支援をどのように行えばよいのか、考えることができた。</p> <p>◎11月 1日(金) ○国際理解に関する講演会Ⅱ(2年) 前回に引き続き、翠耀会の方からの講話をお聞きし、支援に対する考え方や、どのように支援すればよいのかその方法などを考えた。</p>		

<p>成果及び課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域に住んでいらっしゃる障がいを持つ方や地域で発展途上国に対する援助活動を行っている方からお話を聞き、障がい者や国際理解を身近な問題としてとらえることができたとともに、生徒たちが自ら、支援活動に協力していこうという意識をもたせることができた。 ○3年生の進路の関係で1・2年生のみの授業公開となったが、少人数指導などの取組を保護者の方に示すことができた。また、同時に行われた保護者向けの給食試食会で、食の安全性への取組についても理解していただいた。 ○高田公民館との交流会ではゲートボール、生花など高齢者の方とふれ合う活動ができ、生徒たちが貴重な体験ができたとともに、地域の高齢者の方にとっても喜んでいただいた。 ○資源回収は、保護者、地域の住民の方の理解、協力を得て、173トン超の資源を回収することができた。尚、残念ながら、今回の資源回収は、台風接近のため、中止となった。また、収益の一部は、地域の福祉事業に寄附する予定である。 ○「弁当の日」は、食に対する生徒の意識を高めることにつながり、家庭の理解も得て定着してきた。 △資源回収や講演会では、地域の方と連携ができているが、授業公開にも地域の方に参加していただくことができるような取組を工夫する必要がある。
---------------	--